

有機の力で、田舎と人を同時に元気に

(株)ディスカバリープロジェクト（川辺郡猪名川町）



経緯

- ・軽度の自閉症や発達障害のある子供たちへの支援、またその後の就労支援、そしてその先の福祉の枠から外れた働くステージづくりを行うことを目的として、2017年に（株）ディスカバリープロジェクトを創業。「地域再生×上質な福祉サービス×ビジネス」の理念を大切にし、多種多様なホスピタリティあふれるサービスを展開。
- ・子供たちが将来働ける場所を作ろう！との想いで2018年から農業事業をスタートし、2024年11月に就労継続支援A型「ディスカバリーリゾート」を開所（現在の利用者は10名）。有機にんにくを自社で栽培し、加工、パッケージデザイン、販売も行っている。

取組内容

- ・猪名川町の田んぼ2面（25a）からスタートし、現在では町内5地域で約4haの休耕地を有機ニンニク農場に再生。かつての景観が戻ったと住民から喜ばれる中、障がい者への偏見が和らぎ、利用者も「役に立っている」と自信を取り戻している。
- ・就労継続支援A型「ディスカバリーリゾート」は、既に運営する児童発達支援（未就学）、放課後等ディサービス（小中高等部）と連携し一貫した支援体制を確立。保護者からも将来を見据えた体制に評価をいただいている。
- ・付加価値を付けるという意味で有機JAS認証を2020年6月に農産物、2022年9月に加工食品で取得。有機JAS認証を取得したことにより、「お情けで買ってもらう福祉商品」ではなく、一般商品と競争して販売ができるようブランディングした商品（黒にんにく、生にんにくチューブ）の開発ができており、安定した収入にも繋がっている。

今後の展望等

- ・国が掲げる「2050年までに耕地面積の25%を有機農業へ」という目標に共鳴し、有機農業を福祉の現場にさらに広げていき、利用者が社会貢献を実感しながら自立できる程の収入を得ることができる、持続可能な福祉のかたちを全国へ展開していきたい。
- ・猪名川町が管理している施設を4年後に譲り受け、有機にんにくの加工品の製造拡大を目指したい。